

# 2016年度 春闘アンケート

大東文化大学教職員組合  
2016年2月12日

## 大東文化大学 教員の皆様

このアンケートは2016年度春闘要求書作成のための資料となるものです。年度末でご多用中とは存じますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



お忙しい方は一部の質問のみのご回答で結構ですので、ご協力賜りますようお願いいたします。具体的な記載をいただけるとたいへん助かります。

学園のあり方（含む新キャンパス問題）や教学および施設問題など、学園の抱える他の課題をお寄せいただくために7月に2回目のアンケートを予定しています。今回のアンケートは春闘要求に限定しました。

ご記入いただいたアンケート用紙は1号館地下の組合事務室前の箱に**3月11日（金）**までにご投函下さるか直接組合事務室までお持ち下さい。郵送（返信用封筒をご利用ください）の場合は、**3月10日（木）**消印有効とさせていただきます。

### <経済的要求>

少子化、受験料を含む学生生徒納付金・寄付金・補助金などの減少や中途退学者による授業料収入の減少で、帰属収入の伸びが期待できない中、経済的要求に対する法人側の姿勢はますます厳しくなっています。この現状を踏まえて以下の項目にお答えください。

#### 法人側は人件費の抑制を求めています。それに対してどう取り組むべきですか。

ここ数年間、帰属収入に占める人件費の割合は以下のとおりとなっています。

2010年度	大学で56.2%、学園全体で59.1%
2011年度	大学で56.5%、学園全体で60.0%
2012年度	大学で56.8%、学園全体で58.9%
2013年度	大学で57.4%、学園全体で59.8%
2014年度	大学で59.0%、学園全体で56.9%

選択肢の右空欄に✓を入れて下さい。（複数回答可）	(1) 役職手当を引き下げるべき	
	(2) 役職手当を引き下げるが基本給は上げるべき	
	(3) 非常勤講師の削減で対応すべき	
	(4) その他	

[自由記述]

#### ベア要求について

2015年度もベア・ゼロでした。ここ11年間はベア・ゼロです。一昨年、経団連は6年ぶりに基本給を一律に増やすベースアップ（ベア）の実施を容認しました。また、本組合の上部組織である私大教連は、ベアの統一要求をめざしています。大東文化大学教職員組合として今年度はどうすべきだと思いですか。

最も近い意見を一つ選び 選択肢の右空欄に✓を入れて下さい。	(1) 2%以上のベアを要求すべき	
	(2) 要求水準は低くてもベア要求をすべき	
	(3) ベア要求は必要ない	

[自由記述]



## 一時金について

一時金は公務員・他の大手私学教職員との賞与格差を是正するため、長年の組合の努力によって法人側に認めさせてきた制度です。また 1994 年度からは、それまで受験料収入に応じて別途支給されてきた各種の入試手当（センター入試及び 3 科目・2 科目入試の監督手当、推薦入試と大学院入試の作題・監督手当）が一時金に含まれ、その結果、一時金は年間 1.4 ヶ月が 1.6 ヶ月に引き上げられるとともに、プラス $\alpha$ 分（定額部分）が増額されることとなりました。しかし 2010 年度以降、学生への財政的支援等を理由に、0.3 ヶ月分の減額となったままです（夏冬合計で 1.3 ヶ月+276,500 円）。今年度はどうすべきだと思われますか。

最も近い意見を一つ選び 選択肢の右空欄に✓を入れて 下さい。	(1) 現状通り 1.3 ヶ月+ $\alpha$ を要求すべき	
	(2) 2009 年以前の水準（1.6 ヶ月+ $\alpha$ ）を要求すべき	
	(3) 減額すべき	

[自由記述]

## センター試験手当

大学入試センターより手当を含む経費を見込んだ委託金が支払われていること等から、いくつかの他大学と同様に、組合はセンター試験手当（1日1万円程度）を支給するよう求めています。これに対し法人側は、入試手当は一時金に含まれており、手当を支給するならば、一時金の見直しも検討すると回答しています。少なくともセンター入試に全く関わらない法務研究科教員にも同じ額の一時金が支払われているのは公平さを欠くと考えています。この点についてご意見をお聞かせください。

最も近い意見を一つ選び 選択肢の右空欄に✓を入れて 下さい。	(1) 一時金を見直しても、センター試験手当支給を求めるべき	
	(2) 一時金とは関係なく、センター試験手当支給を求めるべき	
	(3) センター試験手当の支給は求めない	

[自由記述]

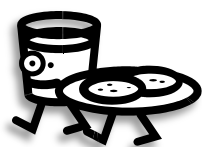


## センター試験宿泊手当

試験の前日から東松山校舎周辺で宿泊をする教職員が多数存在します。季節的な事情や交通手段が極めて限定されていることなど、万が一の場合の危機対応が個人に委ねられている現状です。2006年度から組合の要求が認められ、東松山研修棟での宿泊は無料、2011年度からはビジネスホテル宿泊について1500円が支給されることになりました。この手当についてのご意見をお聞かせ下さい。

最も近い意見を一つ選び選択肢の右空欄に✓を入れて下さい。	(1) 現状でよい（東松山研修棟のみ無料、ビジネスホテル宿泊者には1500円支給）	
	(2) ビジネスホテルでの宿泊についても宿泊費の全額を支給すべき	
	(3) ビジネスホテルでの宿泊についてはさらに増額（1500円+α）をすべき	
	(4) 法人が率先して、宿泊をふくむ手はずを整えるべき	

[自由記述]

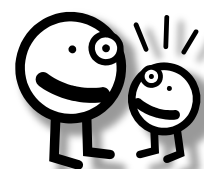


## 扶養手当について

現行では、扶養対象の配偶者に月19,000円、子ども一人当たり9,700円（配偶者がいない場合は11,500円）、その他の扶養親族一人当たり4,000円（配偶者なし10,500円）になっていますが、これについてのご意見をお聞かせ下さい。

最も近い意見を一つ選び選択肢の右空欄に✓を入れて下さい。	(1) 現行でよい	
	(2) 配偶者・子どもなどすべてについて増額すべき	
	(3) 少子化の下、子どもについて増額し、他は現行でよい	
	(4) 少子化の下、子どもについて増額されれば、他については減額も可	

[自由記述]



## <研究・教育・労働条件に関する要求>

### 非常勤講師の削減について

私学の多くは非常勤講師の協力を依存して教学体制を維持しており、2015年度の本学では 751 人の非常勤講師が平均 2.1 コマを担当しています。しかしこの間、人件費抑制を目的にして非常勤講師の削減が進められる一方、専任教員 346 名の平均担当コマ数は 6.2 コマであり、専任教員は責任担当コマ数を上回る担当コマを抱える状態になっています。これについて、以下の中から最も近い意見を選んでください。

最も近い意見を一つ選び 選択肢の右空欄に✓を入れて 下さい。	(1) カリキュラム改革をはかり非常勤講師を削減すべき	
	(2) 非常勤講師削減に反対である	
	(3) 人件費抑制の負担は主として専任教職員が負うべきで、 非常勤講師を削減すべきでない	

[自由記述]



### 非常勤講師の待遇について

本学の非常勤講師の講師給は最低 26500 円で、通勤手当以外の諸手当はありません。非常勤講師の待遇について、以下の中から最も近い意見を一つ選んでください。

最も近い意見を一つ選び 選択肢の右空欄に✓を入 れて下さい。	(1) 講師給を引き上げるべき	
	(2) 大人数（100 人以上）授業担当者には特別手当を支給すべき	
	(3) 一時金を支給すべき	

[自由記述]

### 増コマ手当について

現在、責任担当授業数である6コマを超える手当は、一コマあたり 9,000 円となっています。これは、非常勤講師の講師給の最低額の約3分の1です。こうした現状を踏まえ、どのように働きかけていくべきでしょうか。以下の中から最も近い意見を一つ選んでください。

最も近い意見を一つ選び 選択肢の右空欄に✓を入 れて下さい。	(1) 増額を要求すべき	
	(2) 現行増コマ手当（月額 9,000 円）を維持すべき	

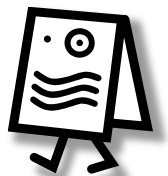
[自由記述]

### アルバイト職員の待遇について

組合では教員と学生に対するサービス確保の観点からも、アルバイト職員の待遇改善を要求しています。現在、東京都の最低賃金は 907 円、埼玉県最低賃金は 820 円です。また、契約期間も5カ月（3月～7月、9月～1月）と雇用の空白が生じています。この現状を踏まえ、どのように働きかけていくべきでしょうか。

選択肢の右空欄に✓ を入れて下さい。 (複数回答可)	(1) アルバイト時給（現在、一律 910 円）の引き上げを要求すべき	
	(2) 1日の勤務時間（現在、昼休みを除いて6時間）を長くすべき	
	(3) 希望者に対しては雇用の空白をなくすべき	
	(4) 給与・勤務時間数は現状のままでよい。	
	(5) 段階的昇給制度を導入すべき	

[自由記述]



## 2011 年度以降に採用された教員の 65 歳定年制について

本学園は新規採用教員（2011 年度以降採用された教員）に対して 65 歳定年制を施行しています。十分な議論を尽くしていないとして、組合ではこれに対して断固反対しています。しかし、実際に 65 歳で定年を迎える教員の方もすでに出てきている状況にあり、学園はこれに対して 3 号特任制度を 2015 年に導入しました。この問題について、ご意見をお聞きします。

<p>最も近い意見を一つ選び 選択肢の右空欄に✓を入れて下さい。</p>	<p>(1) 2011 年度以降採用の教員に対する 65 歳定年制に賛成である ★その理由としてあてはまるものに○を付けて下さい（複数回答可）</p> <p>a 若手研究者に道をひらくべきだ b 一律延長でなく、業績に応じた延長の仕組みを議論すべきだ c 学園の活性化をもたらす その他 ( )</p>	
	<p>(2) 2011 年度以降採用の教員に対する 65 歳定年制に反対である ★その理由としてあてはまるものに○を付けて下さい（複数回答可）</p> <p>a 有能な教員を採用しにくい b 教員が他大学・研究機関に逃げてしまう c 70 歳定年の教員との格差が生じている d 教員採用年齢が高齢化している中で、引き下げは理解できない その他 ( )</p>	
	<p>(3) 職員の定年制も併せて議論すべきである</p>	

[自由記述（これを是正する策も含めてお書きください）]



現在の健康状態について以下の問いに該当する記号に○をして下さい。

① 全体的に疲れやだるさを感じますか

ア 毎日感じる	イ たまに感じる	ウ あまり感じない	エ 全く感じない
---------	----------	-----------	----------

② イライラ・不安・憂鬱はありますか。

ア 毎日感じる	イ たまに感じる	ウ あまり感じない	エ 全く感じない
---------	----------	-----------	----------

③ 気力・意欲が低下していると感じますか。

ア 毎日感じる	イ たまに感じる	ウ あまり感じない	エ 全く感じない
---------	----------	-----------	----------



組合のこれまでの活動や今後取り組むべき課題について、ご自由にご意見をお書きください。



ご協力ありがとうございました。